



### ～ ONE ROOF ～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を作り出す力を育んでいこうという思いを込めています。

# にこにこだより

令和2年11月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618



昼夜の寒暖の差もでてきて、少しずつ冬の訪れを感じる頃になりました。衣服をこまめに調節しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外にでて遊び楽しんでいきたいと思えます。

さて、毎日のニュースに必ずでてくる人気アニメ『鬼滅の刃』。子ども達もよく話をしています。子ども達の会話に興味をもつ私自身は様々な言葉を聞きながら会話を楽しんでいます。

先日江戸川区の園長会の中で、このアニメについて様々な意見が飛び交っていました。ある園では、子ども達が剣を作って戦いごっこばかり…。子どもが発する言葉に違和感が…。と聞きました。保育園に戻り子ども達に話を聞くと『家族を大事にしている主人公が、鬼になった妹を人間にもどす為に戦っていくんだよ!!』『れんごくさんが電車に乗っている人を助けるために自分が…。』と話してくれ、子どもの話からは特に何も違和感もなく受け取っていました。保護者の皆様の助言が子どもたちの素直な心に響いている証拠だと感じています。

そして、わが子(高校生)とこのアニメについて話すことができました。園児の言葉や園長会で聞いた内容を伝えると、映画をみた娘からの言葉は、『家族を想う一途な心に癒され情感を奮い立たせ感動できるし、人のために自分ができることを考えたいと思ったよ。だけど、保育園の子ども達には「死んでしまえ!首を…。』という当たり前に使わない言葉を当たり前になってしまうようなにはなってほしくないよね…。怖い場面・言葉がたくさん出てくる…。だからこのアニメは12歳未満の方は保護者の助言・指導が必要だとなっているんだよ。だから、もし子どもが当たり前に使わない言葉を使ったらどうするのかをお母さんは職員と話した方がいいよ!』ということでした。私自身今までも子ども達には使ってはいけない言葉・人を傷つける言葉には敏感にとらえ指導をしていましたが、この機に園全体でも考える機会を設けようと思っています。

世間でも多くの方が子どもに見せるかどうか迷うという意見があるのは、やはりそれなりの理由がありそうです。その反面、主人公の優しさと自分の為じゃない、誰かの為に強くなる、そのような描写に心が動くようです。これから見ようとしている方もいるとは思いますが、「周りのお友達が見ているから。見たい。見せたい」の理由だけでなく、親御さんがわが子の情緒の発達に合わせた見せ方を検討してみてください。

来月は、乳児に焦点をあてたお便りにします。

## ☆11月の行事予定

- 4日 避難訓練    5日 月組ミニミニ運動会(月組対象)、はいチーズ    9日 身体測定(3・4・5歳)  
10日 身体測定(0・1・2歳)    12日 幼児・0歳児健診    14日 父母の会役員会  
19日 星・月ワクワク遠足(星・月組対象)、乳児・0歳児健診、はいチーズ  
20日 花組ウキウキピクニックランチ(花組対象)    24日 体育指導  
25日 カウンセリング (臨床心理士の高橋先生が来園され育児カウンセリングを行います。

ご希望の方は職員まで声をお掛け下さい。)

※年間行事予定表から変更がありますので、ご確認下さい。

※19日の遠足に関しては、後日掲示にて詳しくお知らせ致します。





# 11月の保育



## <目標>

- ・天候の良い日には、園庭に出て秋の自然に触れる。
- ・保育者との関わりの中で喃語や一語文を発する事を楽しむ。



## <先月の子どもの姿>

お部屋の外に興味津々な子どもたち。園庭や園内散歩に行くことが分かると、嬉しそうにハイハイや歩行でお部屋を出発しています。園庭では、始めは砂の感触に驚いていた低月齢のお友だちも、保育者が手のひらに砂を乗せて見せるとそっと手を伸ばし感触を確かめる姿が見られています。高月齢のお友だちは年上のお友だちの遊ぶ様子に興味を持ちそばへ移動してじっと観察したり、ボール遊びやトンネルくぐりをしたりと行動範囲を広げ活発に楽しんでいます。また、お部屋では、この時期になると個々に好きな遊びや玩具が定まってきており、くるくるチャイムや風船等お気に入りの玩具を繰り返し楽しみ、満足気な笑顔を見せてくれています。(記：北園 栄美子)

## <お楽しみ>

- ・季節の野菜に触れてみよう。
- ・戸外活動を楽しみ、保育者と様々な発見を楽しもう。

## <目標>

- ・戸外活動を通して身体を動かす事を楽しむ。
- ・「自分で」という気持ちを持ちながら簡単な身の周りの事を行おうとする。



## <先月の子どもの姿>

10月になると雨天が続きぐっと冷え込む日が多くなり、子どもたちからは「あめだね。」「さむいね。」等と言った声が聞かれています。長袖を着用する機会が増え、保育者の声掛けと共に手洗いの際や食事の際には「おそでまくまくするよ!」と自ら袖を持って捲り上げようとする姿が見られています。お楽しみみでは段ボールで作ったスタンプを使い、ハロウィンのかぼちゃ製作を行いました。「おばけみたいだね!」等と言う声が聞かれ、意欲的にスタンプを手に取り絵の具を付けペタペタと繰り返し押し、色や形が付く様子を楽しんでいました。(記：篠塚 美幸)

## <お楽しみ>

- ・絵の具の感触を楽しみながら手形スタンプを行い紅葉の製作を楽しもう。
- ・音の鳴る玩具を使ってリズム遊びを楽しもう。

## <目標>

- ・園庭や散歩先で秋の自然に親しむ。
- ・遊びや生活を通して、新園の約束事や過ごし方を知る。



## <先月の子どもの姿>

ハロウィンを楽しみにしている子ども達の姿がありました。ハロウィン製作の際には、保育者と一緒に目と鼻の位置を確認しながら顔を作ると「かぼちゃおばけだ!」と完成を喜んでいました。また、黒い画用紙にクレヨンで模様を描き、魔女の帽子を作っています。帽子を被り、ステッキを手を持つと「ビビデバビデブー」と魔法使いになりきり遊ぶ事を楽しんでいました。着脱の際には、保育者が援助しようとする「じぶんでやる!」と意欲的に行う姿が多く見られてきています。長袖を脱ぐ際には、肘を曲げて袖を抜く事や、脱いだ衣服を「こうやって?」と聞き、畳み方を確認し白かごに片づけるなど様々な事に挑戦しています。(記：須賀 美穂)

## <お楽しみ>

- ・お友達と手を繋いで散歩に出かけ、どんぐりや色付いた葉っぱ拾いを楽しむ。
- ・新園屋上でかけっこをして沢山身体を動かそう。

### <目標>

- ・手洗い、うがいをこまめに行い、感染症予防をする。
- ・寒さに負けず戸外で沢山身体を動かす。
- ・行事に期待感を持ち楽しむ。



### <花組>

制作では、ハロウィンのブレスレット作りに挑戦しています。折り紙を手でちぎる感覚は楽しいようで「びりびり」「へびみたい」と楽しみ、完成した作品を身に付けるとポーズを決め嬉しそうにしていました。

屋外では、秋晴れも続いてのびのびと屋上遊びを楽しみました。大型積み木とマットを使い、お家に見立てくつろぐ姿は、とても気持ち良さそうでした。

### <星組>

ピクニックランチでは、園庭やレインボーテラス等好きな場所を自分で選び、お弁当を食べました。「おいしいね」「きもちいいね」等友だち同士会話も弾み、苦手な野菜も大きな口を開けて食べる姿がありました。

天気の良い日は、屋上に出て大縄跳びやバナナ鬼などをして身体を動かしました。お友だち同士で話し合い、鬼を決めたり「だれかタッチして」「まっぺー」と声を掛け合ったりと盛り上がり、積極的に楽しんでいました。

### <月組>

公団のテニスコートへ散歩に出掛けました。朝から「きょうは、おさんぽだね」とウキウキの子ども達。出かける前に交通ルールのお話をするとみんな真剣な表情で聞き、守りながら歩行していました。楽しい時間は、あっという間で帰り道には、「また、いきたいね」「たのしかったね」と友だち同士で会話する姿がありました。また、月組ミニミニ運動会に向け、楽しみながら練習も行っています。「あと〇にちだね！」と当日まで期待感を高めているようです。

制作では、ハロウィンの飾り付けをしました。ハサミとのりを使い、立体的なかわいいカボチャが完成しました。

### <お楽しみ>

- ・運動会や遠足を楽しもう。
- ・戸外で沢山身体を動かそう。

(記 小林 美沙子)

## 【保健】

秋もだんだんと深まり、朝晩は寒さが感じられるようになってきました。11月は日中と朝夕の気温の差が激しくなります。衣服の調節をしながら秋から冬に向け寒さに慣らしていけるようにしましょう。

## 動きやすい服装で

ふだんの服装は、「活発にあそべる」という点を優先していただきたいと思います。これから訪れる寒い冬も快適に過ごす服装を考えてみましょう。

### 下着を着る

保温性・吸湿性を考えると、綿100%で半そでのものがいちばん。ただ、古くなると目が詰まって保温力が低下するので気をつけましょう。ヒートテックは保温性が高いため、暑くなりすぎないように気を付けましょう。Tシャツは、下に着るとごろごろして動きにくくなるので、下着の代わりにはなりません。



### 薄手の重ね着

重ね着をすると、服と服の間に体温で温まった空気の層ができ、厚手のもの1枚着るより保温性が高まります。薄手の重ね着なら、動きやすく機能的です。

### 着脱しやすいもの

ファッション性よりも、ボタンやホックをはめやすく、ひとりで着脱しやすいものがよいでしょう。

## 気管異物のときの応急手当て

子どもが何かをのどに詰まらせて苦しそうにしていたら、まず、“せき”を促しましょう。改善しないときや悪化したときは、すぐに周りの人に救急車を呼んでもらいましょう。

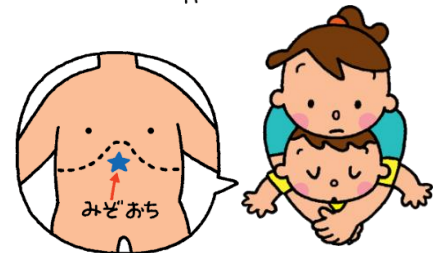
### 【背部叩打法】

乳児・幼児：呼吸困難もみられるときは逆さまにして、背中の上の方（肩甲骨の間）を平手で強めにたたく。



### 【腹部突き上げ法】

幼児：後ろから抱きかかえ、みぞおちのあたりを圧迫する。×乳児は内臓を傷つけるおそれがある。



## 全園児健診について

11月12日（木）：幼児      11月19日（木）：乳児

園医による内科健診を行います。

お子さまの身体のことでも気になる事がありましたら、当日朝までに職員にお知らせください。

# 七五三について

七五三は、今まで無事に成長したことに対する子どもへのお祝いです。昔は今と違って、乳幼児の死亡率が高く、子どもの健やかな成長を願い、祈ることに切実な意味が込められていました。お参りする日には11月15日とされています。園では、特別献立でお祝いする予定です。

## 【お祝いの年】



男の子：3歳・5歳  
女の子：3歳・7歳



## 【お祝いに関するそれぞれの意味】

3歳：髪置き…髪を伸ばし始める

5歳：袴着…初めて袴を着る

7歳：帯解き…初めて帯をつけて着物を着る



## ～箸の正しい持ち方について～

①1本の箸を鉛筆持ちする  
親指、人差し指、中指で箸を1本持ち、中指を曲げ伸ばして、先端を上下に動かします。



②もう1本の箸を差し入れる  
親指の根元から差し入れ、薬指で支え固定します。



③上の1本を動かす  
下の箸を固定し、上の箸を人差し指・中指の操作で動かして物をつまむようにします。



## 箸の使用は焦らずに進めましょう！

子ども達が“使いたい”“やってみたい”という気持ちを大切にしつつ、ご家庭でも無理なく進めましょう。まずは、スプーンやフォークで三点持ちが安定するようになってから、取り入れていくことをお勧めします。箸を使い始めた際には、おかずの大きさが小さすぎると箸でつまみづらくなるのでご家庭でも大きさに注意しましょう。園では、4・5歳児クラス対象にお箸のマナーも伝えていきます。

## ～正しい姿勢でご飯を食べよう～

食事時の姿勢は見た目だけでなく、消化にも影響します。正しい姿勢で食事ができるようご家庭でも一緒に確認してみましょう。



園では年齢に応じた椅子・机の高さに留意しています。

## ～感染性胃腸炎について～

冬場に流行するのが、嘔吐と下痢を伴う感染性胃腸炎です。牡蠣などの二枚貝を生あるいは加熱不十分なまま食べて感染する場合や、感染した人が手を洗った食品を食べた場合など家庭でも十分に予防していきます。

### 正しい姿勢

- 背もたれに背中がきちんとついていない
- 足がきちんと床につき、そろっていない

食卓での衛生管理の徹底

- 調理の際十分な加熱処理
- 嘔吐、下痢の際の清掃作業管理 など

### 予防のポイント

- こまめな手洗い、排便後、調理前、食事前は石鹸と流水でしっかり洗いましょう。
- 食材は中心部まで十分に加熱しましょう。